

止まらない

厄介な咳のお話

夜間、咳き込んで眠れなくて困った経験はありませんか？咳は気道の炎症によって起きたり、たまった分泌物を排出させようとすると反射と考えられています。大切な生体反応なのですが、長引くと厄介です。原因もさまざまです。

主症状は頑固で長引く咳、風邪の方は数日で治まったが、就寝時になると激しく咳込むため、なかなか寝付けない。しゃべったり、人のタバコの煙などで刺激され咳込む。痰はあまりからまない。咳止め入りの風邪薬を服用しても症状は一向に良くならない。毎年スギ花粉の季節になると目や鼻がかゆくなる。このような場合、「アトピー咳嗽」という疾患に注意です。その名の通り、アレルギー反応が関与して咳症状を呈する病気です。典型的な病像は、長引く咳。数週間から数カ月に及びます。痰を伴わない乾性咳のことが多い。就寝時から夜間にかけてが咳の好発時間帯で、タバコの煙、冷氣、発声などの刺激によっても誘発される。風邪に続く事が多く、熱や鼻水は治まったが咳だけがしつこく残っているというのが、典型的な症

状です。女性に多く、何らかのアレルギー素因を持っています。スギ花粉症の方、要注意ですよ。レントゲンや血液検査に特徴的な所見がないことが多いですが、鑑別のため必要な検査です。

そして、忘れてはいけないのが気管支喘息です。気管支喘息の定義には「喘鳴を伴う」という項目があり、これがなければ気管支喘息とは診断ができません。しかし、喘鳴がないにも関わらず、明らかに気道過敏性の亢進が見られ、しかも気管支拡張薬に反応する慢性乾性咳嗽が存在します。現在、これを咳型喘息と診断しています。厄介なことには、天候の変化や運動などで刺激されて咳が出やすく、中枢性鎮咳薬（咳止め薬）が効きません。日中の診察時には異常がなくとも、夜間や早朝のみ喘鳴が存在する隠れ喘息タイプもあります。

慢性の咳は、呼吸器に異常があるだけではありません。慢性副鼻腔炎で、夜寝ると後鼻漏のため、咳込むこともあります。また、逆流性食道炎でも横になると、咳込むことがあります。他にも、軽症肺気腫など皆さんに知って欲しい病気もあります。またの機会に。

おかしいなと感じたら、まずご近所の医師にご相談ください。

文 みずぬまクリニック

水沼裕光先生